



# JUST MIXER M

## 取扱説明書

JUST MIXER Mをお買い上げいただきありがとうございます。  
JUST MIXER Mを最大限に活用し、正しく動作させるために、この取扱説明書をよくお読みください。

### ■ 特徴

#### 48Vファンタム電源、1.5V 電源

3.5ミニプラグのコンデンサーマイク、ダイナミックマイク、エレクトレットコンデンサーマイクが接続できます。

#### USBオーディオ

内蔵の24ビット/96kHz USBオーディオモジュールを経由して、JUST MIXER Mとコンピュータの間でオーディオをストリーミング再生します。一部のモバイル機器では、USB On-the-Go (OTG) による接続がサポートされています。

#### ミュート機能

各チャンネルはそれぞれ独立してミュートすることができます。チャンネルがミュートされている間もヘッドフォンでミックスをモニターすることができます。

### ■ 仕様

|  |   |
|--|---|
| 入力端子<br>MIC入力端子x2、LINE入力端子x1、AUX入力端子x1                 | 電源<br>USBアダプタ、充電器   |
| ゲイン<br>MIC1 / MIC2: 50dBm<br>LINE: 50dBm<br>AUX: 20dBm | 寸法<br>126 x 85 x 23 mm / 5" x 3.3" x 0.9"                                   |
| 入ラインピーダンス<br>5.6kΩ                                     | 重さ<br>120g / 4.2oz (ミキサーのみ)   |
| 出ラインピーダンス<br>メイン出力: 1kΩ                                | 接続端子<br>ヘッドフォン出力端子<br>(3.5 mm ステレオ) x 1<br>USB 端子(電源) x 1<br>USB 端子(信号) x 1 |
| ヘッドフォン出力<br>0.1mW (負荷33Ω)                              | 入力端子 x 4 (3.5 mm ステレオ)<br>出力端子 x 1 (3.5 mm ステレオ)                            |
| 消費電流<br>650mA (最大)                                     |   |

### ■ 付属品

- USBからMicro USBへの変換ケーブル x 1
- 3.5 mm 携帯電話用オーディオケーブル (3リング) x 1
- 取扱説明書 x 1

### ■ 操作



48Vコンデンサーマイクを使用していないときは、必ず48Vファンタム電源をオフにしてください。ファンタム電源を必要としない他のデバイスに誤ってファンタム電源を供給すると、損傷やノイズが発生するおそれがあります(この機器のファンタム電源:43-48V DC)。

#### ◎ 48Vコンデンサーマイクの場合

1. USB電源を接続し、電源スイッチをオンにします。
2. コンデンサーマイクをMIC1またはMIC2入力に接続します。
3. フロントパネルのMIC1かMIC2の電源スイッチを"48V"に切り替えます。
4. オーディオ出力をスピーカー/ヘッドフォンに接続します。
5. VOLUME 1/VOLUME 2のフェーダーを信号レベルに合わせて調整します。

#### ◎ 1.5V エレクトレットコンデンサーマイク

1. USB電源を接続し、電源スイッチをオンにします。
2. エレクトレットコンデンサーマイクをMIC1またはMIC2入力に接続します。
3. フロントパネルのMIC1かMIC2の電源スイッチを"1.5V"に切り替えます。
4. オーディオ出力をスピーカー/ヘッドフォンに接続します。
5. VOLUME 1/VOLUME 2のフェーダーを信号レベルに合わせて調整します。

Windows 7/8/10とMac OSをサポートしています。また、OTGを有効にした一部のモバイル機器が使用可能です。(追加で別売りのアダプタが必要です)



#### ◎ ダイナミックマイク

1. USB電源を接続し、電源スイッチをオンにします。
2. ダイナミックマイクをMIC1またはMIC2入力に接続します。
3. フロントパネルのMIC1かMIC2の電源スイッチを"—"に切り替えます。
4. オーディオ出力をスピーカー/ヘッドフォンに接続します。
5. VOLUME 1/VOLUME 2のフェーダーを信号レベルに合わせて調整します。

### ■ パネル各部の機能

**MIC入力端子**  
3.5mm端子のコンデンサーマイク、ダイナミックマイク、エレクトレットコンデンサーマイクを接続。

**LINE入力端子**  
3.5mm端子のCDプレーヤー、DVDプレーヤー、あるいはその他の音楽機器を接続。

**AUX入力端子**  
3.5mm端子の外部音源を接続。

**オーディオ出力端子**  
3.5mm ステレオ出力。

**48V / 1.5V 電源スイッチ**  
MIC1とMIC2の電源スイッチです。  
48V: コンデンサーマイク  
—: ダイナミックマイク  
1.5V: エレクトレットコンデンサーマイク

**ECHO 調整ノブ**  
エコーの効果を調整します。

**MUTE ボタン**  
オーディオ出力はミュートされますが、引き続きヘッドフォンでモニターすることは可能です。  
— ミュート ■ ミュート解除

**電源ランプ**  
電源が接続されているとLEDが点灯します。

**MICボリューム調整**  
MIC1 / MIC2のボリュームを調整します。

**ヘッドフォン出力**  
3.5mm ステレオヘッドフォンを接続します。

**ヘッドフォンボリューム調整**  
ヘッドフォンのボリュームを調整します。\*ヘッドフォンのボリューム調整はメイン出力には影響しません。

**LINE / USB スイッチ**  
LINE入力とUSB入力を切り替えるスイッチです。USB入力に切り替えると赤色のLEDが点灯します。 ■ USB ■ LINE

**ヘッドフォン出力**  
3.5mm ステレオヘッドフォンを接続します。

**USB電源供給**  
USBもしくはモバイル充電器。

**USBオーディオ入力/出力**  
電源をオン/オフにします。

**GAIN 調整ノブ**  
LINE入力にゲインを追加します。

**ヘッドフォン出力**  
3.5mm ステレオヘッドフォンを接続します。

**ヘッドフォンボリューム調整**  
ヘッドフォンのボリュームを調整します。\*ヘッドフォンのボリューム調整はメイン出力には影響しません。

**AUX調整ノブ**  
AUX入力の音量を調整します。

**マスター音量調整**  
主音量のボリュームを調整します。\*主音量はヘッドフォンによるモニターの音量には影響しません

**ヘッドフォン出力**  
3.5mm ステレオヘッドフォンを接続します。

**ヘッドフォンボリューム調整**  
ヘッドフォンのボリュームを調整します。\*ヘッドフォンのボリューム調整はメイン出力には影響しません。

**LINE音量調整**  
LINE音量を調整します。

### ■ 注意事項



ファンタム電源供給に必要なコンデンサー・マイクを接続しない場合は、ファンタム電源を必ずオフにしてください。ダイナミック・マイクやオーディオ再生装置などにファンタム電源を供給すると故障の原因になります。(本機のファンタム電源:DC48V)

#### 電源に関する注意事項

- ノイズを誘発する可能性があるため、他の機器に使用されている電源に接続しないでください。
- 機器の損傷や誤動作をふせぐため、接続する際は機器の電源を切ってください。
- ノイズを誘発する可能性のある電気モーター、照明システム、および他の機器などに使用されている電源に接続しないでください。
- ケーブルを踏んだり、ケーブルの上に重いものを置いたりしないでください。
- 電源アダプタをコンセントから抜くときは、ケーブルではなく、電源アダプタを持って抜いてください。
- 長期間使用しない場合は、電源アダプタをコンセントから抜いてください。

#### メンテナンス

- 毎日のお手入れは、乾いた布、またはやや湿った柔らかい布で拭いてください。頑固な汚れやシミを取り除くには、あまり強力でない、研磨剤の含まれていない洗剤を使用してください。その後、柔らかく乾いた布で拭いてください。
- 変色や変形を避けるために、ベンゼン、シンナー、アルコール、そのほかの溶解剤は、絶対に使用しないでください。

#### 配置

- 本機を極端な温度にさらさないでください(例:直射日光の当たる車内など)。
- ほこりの多い場所や湿気が多い場所、振動の多い場所での使用や保管は避けてください。
- パワーアンプ(または大型電力変圧器を含む機器)の近くで使用すると、ハムノイズが発生する可能性があります。

#### その他の注意事項

次のような状況が発生した場合は、ただちに電源を切り、電源アダプタをコンセントから取り外してください。

- USBアダプタまたは電源ケーブルが破損した場合; 煙や臭いが発生した場合。
- 物体が機器に落ちたり、または液体が機器にこぼれたりした場合。
- 正常に動いていなかったり、動作が極端に変化した場合。

